
開講科目名：財務諸表論特殊研究（4単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：友杉 芳正

《授業の概要》

《授業の目標》

会計学の領域の中で財務諸表論を中心に研究するものである。投資者の投資意思決定に有用な会計情報を提供する金融商品取引法会計が中心となるが、関連箇所では会社法会計としての計算書類なども取り上げる。制度上は、連結会計が中心であるが、講義では逆に個別会計から説明する。まず、会計の基本的枠組み、損益会計、資産会計、負債会計、純資産会計の説明後、キャッシュ・フロー計算書、中間財務諸表、四半期財務諸表を経て連結財務諸表へと展開し、財務諸表論の本質を理解する。主に講義形式で行うが、必要に応じて各自からの報告や確認テストなどを行う予定である。

《授業の内容》

1財務会計論と財務諸表論、2企業会計原則、3損益計算原則、4資産概念、5固定資産の減損、6負債会計、7純資産会計、8税効果会計、9研究開発費会計、10ヘッジ会計11企業結合会計、12キャッシュ・フロー会計、13中間財務諸表、14四半期財務諸表、15連結財務諸表論など。

2. 評価方法

試験点60%、レポートなど提出点20%、その他平常点20%による総合評価

《テキスト》

進度に応じて、適宜指示する

《参考書》

進度に応じて、適宜指示する